

戸張市長

平成23年度施政方針

「住みよさ日本一」を旨し

- 安心安全のまちづくり
・関小学校・旭小学校体育館耐震補強・大規模改修工事
- 子どもを産み育てられるまちづくり
・7月から通院に対する子ども医療費の支給対象年齢を中学生まで拡大
- 食で育む健康のまちづくり
・市民一人ひとりが生涯にわたり健康で心の豊かさを実感できるくらしの実現を目指す
- 自立する活動的なまちづくり
・市民満足度の向上を目指す



日本共産党

吉川市議員団

小林 昭子

◆景気回復への見通しに対する見解を

問 リーマンショック後の大企業の景気は内部留保が1年で11兆円増え、244兆円と回復しているが国民の暮らしに景気回復の実感はない。内閣府の経済財政白書は、「景気回復過程の国際比較では我が国だけ企業部門所得の回復が家計には波及しなかった」と指摘している。大企業の内部留保を労働者に還元し、GDPの6割を占める個人消費を高める事こそ景気回復への道ではないかと考えるが。

答 市長 政府月例経済報告は「経済は足踏み状況から脱しつつあるが失業率が高水準のままなど不安要素がある」としている。一日も早く元気な日本を取り戻す事を望んでいる。

◆住宅リフォーム

助成制度を

問 菅総理は「住宅市場を活性化させる点で極めて重要、

社会整備総合交付金が活用できる」と答弁している。交付金を活用し制度創設を。

答 市長 不公平感があるので現時点では考えていない。

◆保育園待機児童の解消を

問 公立保育園を増設し、市の責任で対応するべきでは。

答 市長 民間保育園開設に向け準備をしている。

◆後期高齢者健康診査向上

答 市長 平成22年の受診率は8.8%で、健康カレンダー等で広報している。その他

●交通過疎地域のない街を。

●栄町教職員住宅は売却せず、市の活用を等質問。



市立第一保育所

自由民主党

吉川市議員団

加崎 勇

問 平成23年度予算は吉川市にとって初めて200億円を超える予算となりました。教育費は前年度比64.10%増であり要因は(仮称)美南小学校の建設費が大半と思われませんが施政方針の「将来の吉川を担う児童・生徒一人ひとりが夢や未来にチャレンジできる活力・魅力ある学校」とは、どんな学校ですか。

答 市長 すべての子どもたちに身につけさせたい「教育に関する3つの達成目標」

1. 基本としての学力
2. 規律ある態度
3. 体力の向上

を基礎とした「きらっと吉川なまずの里 ゆめプラン」構想で活力・魅力ある学校づくりを進めます。

問 土木費は前年度比32.20%の増で、吉川美南駅工事負担金が主な要因です。新駅は来年3月に開業と聞いていますが、その東口から吉川高校前の県道まで63haの開発と東埼玉テクノポリスの拡張に

ついて、今後の予定について伺います。

答 市長 現在、県では第6回の市街化区域と市街化調整区域の取り扱いを定める基本方針の策定中であり、それに合わせた協議中です。東埼玉テクノポリスの拡張は新駅周辺地域の整備を先行し、その後拡張を進めます。

問 諸支出金の主なものは開発公社費ですが、中学校用地取得に関連したものですか。

答 市長 仮称第4中学校用地を開発公社に取得依頼するものです。

問 住みよさ日本一についてはどのような政策ですか。

答 市長 公共下水道や都市公園整備、新駅周辺開発に取り組み競争力の高いまち、子育て支援や、安全で安心なまちづくりを推進します。



東埼玉テクノポリス